

# 社会資本総合整備計画

## 児玉市街地地区都市再生整備計画

平成 26 年 3 月 28 日

埼玉県本庄市

# 都市再生整備計画(第5回変更)

児玉市街地地区

埼玉県 本庄市

平成26年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	埼玉県	市町村名	本庄市	地区名	児玉市街地地区	面積	1574 ha
計画期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度	交付期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度				

**目標**  
**大目標:都市基盤の充実による安全・安心な環境のもと、歴史や文化といった地域資源の一体的活用と住民間の活発な交流が図られるまちづくり**

- 目標1:子供からお年寄りまで、地域住民間の活発な交流が図られる環境づくり、及び環境整備を行う。
- 目標2:生活道などの都市基盤の充実を図り、安全・安心・快適に生活が送れる環境づくりを行う
- 目標3:貴重な史跡や文化財の適正な保全と価値の増進を図り、一体的な活用が図られる環境づくりを行う。

**目標設定の根拠**

まちづくりの経緯及び現況

・本市は、平成18年1月に旧本庄市と旧児玉町が合併し、「新本庄市」としてスタートを切った。平成20年3月には、公募の市民からなる「まちづくり協議会」からの提言、市民アンケートの結果、パブリックコメントによる意見募集の結果等を集約し、市民と行政の連携の結果であり、今後のまちづくりの基本方針となる「本庄市総合振興計画」を策定、目指す将来像「あなたが活かす、みんなで育む、安全と安心の町 本庄～世のため、後のため～」を掲げた。

・児玉地域は、戦国時代に山内上杉氏が築城した雉岡城とその家臣団を中心とする町屋がその起源といわれており、盲目の偉人として有名な塙保己一の生誕の地である。近代では関東有数の繭取引市場として活況を呈し、貴重な文化財として現存している競進社模範蚕室が建設されるなど発展を遂げてきた。他にも昭和六年竣工の児玉町旧配水塔、昭和12年竣工の現存する灌漑用コンクリートダムとしては国内最古である間瀬湖の堰堤、堰堤管理橋など多くの史跡、文化財を内包する地域である。現在は関越自動車道のICや上越新幹線の本庄早稲田駅、国道254号などの整備等により、急速に宅地や商業地、工業地としての利用が促進されている。

・平成14年に実施した地域住民アンケートによると、少子高齢社会を見据え、地域での助け合いや交流を深めること、並びに子供達が様々な体験や活発な交流ができる環境を求める声が強くなり、住民同士が交流を深める活動の場(花いっぱい運動や清掃活動、自然保護活動)を設けて欲しいという具体的意見も挙がっており、子供、高齢者、弱い立場にある人々を大切に、災害や犯罪が少なく安全に暮らせるまちを目指すことが重要との結論が出ている。

・現在、児玉市街地内の児玉南地区において健全且つ良好な居住環境を有する宅地の造成と公共施設の整備改善を図ることを目的に土地区画整理事業が行われており、新たな市街地が形成される予定である。

課題…「本庄市総合振興計画」に掲げる「あなたが活かす、みんなで育む、安全と安心の町 本庄～世のため、後のため～」という観点で見た児玉市街地地区の課題について。

- ・「あなたが活かす、みんなで育む」…上記のとおり地域住民の声の中にも、地域での助け合いを重視し、他の住民との交流を図る場の充実を求める声が強いの。また、市としても、種々の事業実施について、住民との連携強化をより一層推進する必要がある。
- ・「安全と安心の町」…本地域は旧本庄市の市街地に比べ、都市基盤である道路や公園といった施設の整備、改良、雨水対策等が大幅に遅れている現状にある。また、防犯や災害対策などの一層の充実も必要不可欠である。
- ・「世のため、後のため」…太古の時代より現在に受け継がれる史跡や文化財、豊かな自然環境といった地域資源を次代に確実に伝えるべく、適正な保全と更なる周知・活用を図る必要がある。

将来ビジョン(中長期)

**安全面の充実が図られた活発な交流が図られる快適な市街地の形成**

- ・事業実施(公園整備、観光情報板設置等)に当たってワークショップを実施し、地域住民にとって最適な整備方針、内容について検討を加える。また、これをきっかけとし、公園愛護活動等、新たな住民間の交流の場が醸成されるようサポートを行う。
- ・都市基盤施設である道路、公園の整備改良、並びに防犯や災害対策等の観点から通学路の環境整備や市営住宅の改修、防災倉庫の設置等を行うことで、周辺住民が安全・安心に生活できる基本的環境を整える。
- ・史跡、文化財の一体的な活用を図るため、推奨散策経路を設定すると共に散策環境の充実を図るための改修事業の実施とPRを図ることで散策者の増加を見込む。

**目標を定量化する指標**

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性		従前値	目標値	
					基準年度	目標年度	
公園愛護会団体数	団体	新規で立ち上げられる公園愛護団体数	住民がワークショップに参加する公園整備事業と関連し、愛着を持った公園活用と交流の場としても重要な愛護団体の新規結成団体数を目標とする。	2	4	H20	H25
道路網の整備に関する満足度	%	地域住民に対するアンケート調査による満足度の増減	地域の道路網については、整備の遅れや不足により、住民満足が十分得られていない現状にあるため、本事業において大幅な環境改善を図ることで、その向上を目指す。	31	40	H19	H25
塙保己一記念館年間来館人数	人/年	推奨散策経路の中核である塙保己一記念館の年間来館人数	散策の中核施設として周知を行う記念館の来館人数は、事業により一体的に散策する人の変動とも関連するため、事業効果の検証に適している。	3244	4000	H19	H25

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針①(あなたが活かす、みんなで育む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児玉南土地区画整理事業に伴い造成された公園予定地4箇所について、ワークショップ等を通じて、地域住民にとって通常の公園利用や地域でのイベント等の実施などに最適なコミュニティスペースとするための整備コンセプト、整備内容、手法等について検討を図り、誰もが気軽に憩える環境を整える。また、ワークショップにより、整備段階から地域住民に積極的な関わりを持ってもらうことで、地域主体が主体となつての花壇づくりや愛護活動、学校の課外活動等での公園活用の促進を図る。</li> <li>・整備方針③に係る推奨散策ルートの設定、及び総合案内板、地区案内板、誘導標識・見どころ解説板を地域住民とのワークショップ等にて最適な内容や周知方法を検討する。貴重な史跡、文化財を地域住民ならではの視点で捉えていただくことで、新たな魅力を発掘してもらい、特色あるルート設定と案内板作成を行い、案内板は駅周辺、及び各散策ポイントや公共施設等に設置し、散策者の誘導を図る。</li> </ul> <p>整備方針②(安全と安心の町)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民が安全・安心に生活する上で最も基本的かつ必要不可欠な生活道路網の整備を行う。</li> <li>・災害に強い町という観点から、新たな地域防災拠点として消防団の緊急車両格納倉庫整備と豪雨等の雨水対策基本計画を策定する。また、公共施設であるものの構造上の問題により安全面や耐火性能に問題を抱える市営住宅の改修を実施する。</li> </ul>	<p>○公園(基幹事業／街区公園4箇所整備)</p> <p>○地域生活基盤施設[情報板](基幹事業／総合案内板、地区案内板、誘導標識、見どころ解説板設置事業)</p> <p>○まちづくり活動推進事業(提案事業／公園、文化財ワークショップ事業) など</p> <p>○道路(基幹事業／市道1-468号線他改良事業)</p> <p>○消防倉庫(提案事業／消防倉庫新設事業)</p> <p>○地域創造支援事業(提案事業／児玉市営住宅改修事業)</p> <p style="text-align: right;">など</p>
<p>整備方針③(世のため、後のため)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史と文化の散歩道をテーマに、児玉駅周辺の徒歩圏内に点在する文化財等の散策ポイントを一体的に散策できる推奨ルートを設定し、マップを作成、配布して周知を行う。</li> <li>・散策の中核ポイントをJR八高線児玉駅より徒歩約10分と近く、埼玉県指定文化財である雉岡城址と塙保己一の遺品及び関係資料が展示されている塙保己一記念館(雉岡城址に併設)、並びに国の登録有形文化財であり整備・改修事業を行う児玉町旧配水塔に設定し、併せてPRを行うことで散策価値を高める。</li> </ul>	<p>○地域生活基盤施設[広場](基幹事業／雉岡城址整備事業)</p> <p>○地域生活基盤施設[情報板](基幹事業／総合案内板、地区案内板、誘導標識、見どころ解説板設置事業)</p> <p>○地域創造支援事業(提案事業／児玉町旧配水塔改修事業)</p> <p>○まちづくり活動推進事業(提案事業／公園、文化財ワークショップ事業) など</p> <p>○公園(基幹事業／保木野公園)</p> <p>○地域創造支援事業(提案事業／防火水槽設置事業)</p> <p>○地域創造支線事業(提案事業／道路照明灯LED化)</p> <p>○高質空間形成施設(基幹事業／児玉駅前公衆トイレ)</p>
<p>その他</p> <p>○交付期間中の計画の管理について 目標達成に向けた各種事業の円滑な進行にあたっては、関係部署間の調整会議を随時実施し、情報共有と意見交換を密に図っていくことに加え、広報誌やホームページ等を活用して地域住民への積極的な情報提供を行う。また、ワークショップ等を適宜開催して地域住民との連携を取っていく。</p> <p>○事業終了後の継続的なまちづくり活動 本事業の実施にあたっては、地域住民の積極的な関わりを期待し、情報提供、情報共有、意見交換を図れる場を適宜設けて行く。これを通じ、地域住民の地域の自然、歴史、文化の保全や啓発に対する自発的な活動意識を醸成し、事業完了後も継続的、あるいは新たな活動を地域主体で展開できるような環境づくりをサポートしていく。</p>	





都市再生整備計画の区域

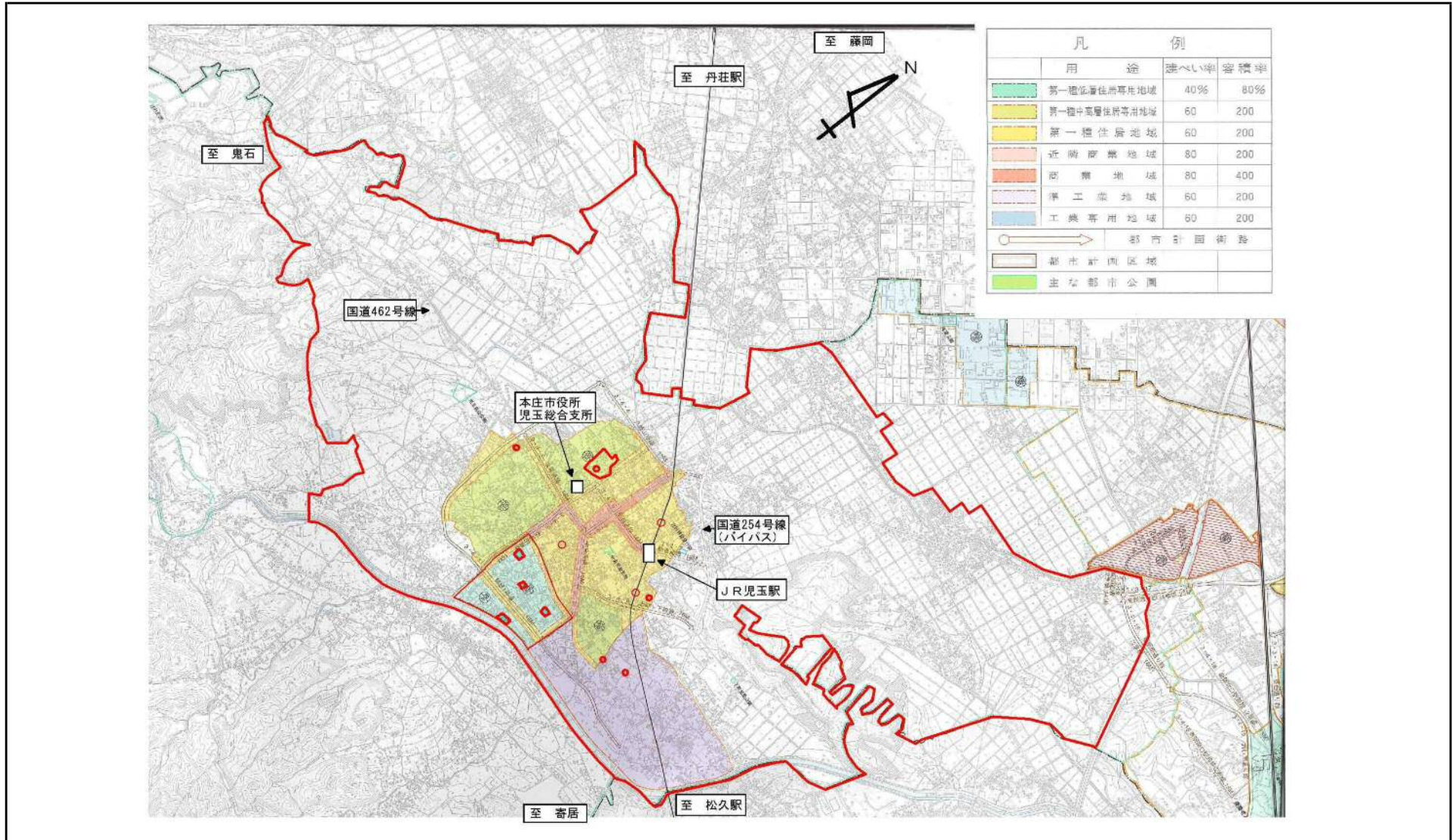
児玉市街地地区

面積

1574 ha

区域

児玉町児玉、児玉町八幡山他





### 児玉市街地地区(埼玉県本庄市) 整備方針概要図

目標	都市基盤の充実による安全・安心な環境のもと歴史や文化といった地域資源の一体的活用と住民間の活発な交流が図れる町づくり	代表的な指標	公園愛護会団体数	団体	2	( 20年度)	→	4	( 25年度)
			道路網の整備に関する満足度	%	31	( 19年度)	→	40	( 25年度)
			塙保己一記念館年間来館人数	人/年	3244	( 19年度)	→	4000	( 25年度)

